

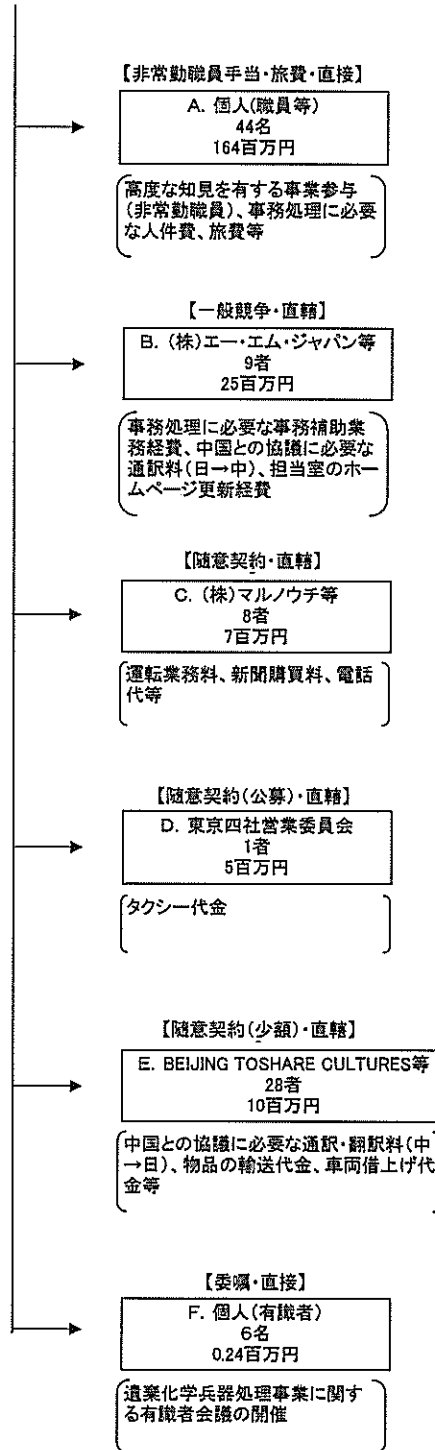
行政事業レビューシート (内閣府)

予算事業名	遺棄化学兵器廃棄処理事業担当室経費	事業開始年度	平成11年度	作成責任者		
担当部局	遺棄化学兵器処理担当室	担当課室	遺棄化学兵器処理担当室	参事官 松本 清志		
会計区分	一般会計	上位政策	遺棄化学兵器処理事業の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	化学兵器の開発、生産、貯蔵及び使用の禁止並びに廃棄に関する条約、 日本国政府及び中華人民共和国政府による 中国における日本の遺棄化学兵器の廃棄に関する覚書	関係する計画、 通知等	遺棄化学兵器問題に関する取組体制について(平成9年8月28日閣議了解) 遺棄化学兵器問題に対する取組について(平成11年3月19日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	化学兵器の開発、生産、貯蔵及び使用の禁止並びに廃棄に関する条約(1995年批准、1997年発効)に基づき、2012年4月までに中国における日本の遺棄化学兵器を廃棄する義務を履行するため。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	事業全般について助言を行う有識者会議の開催、委託事業の企画・調達・運営・管理、日中協議等を行っている。また、当室の事業内容が極めて特殊なことから、各種専門分野(建築・施工管理、化学物質分析等)に関して、高度な知見を有する事業参与等を雇用し事業の実施体制の強化を図っている。					
実施状況	日中協議(行政レベル、各種専門家レベル)を実施することで、各種事業の実施方針・実施体制の整備・事業内容詳細等について調整を行った。 適正な実施と透明性の向上を図るため、有識者会議を2回開催し、ハルバ嶺事業、中国各地域の発掘・回収事業、移動式処理事業等について、中立・公平な立場で客観的に事業全般について検討を行い、有益な意見及び助言をいただいた。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	150	286	244	249	252
	執行額	136	198	211		
	執行率	91%	69%	86%		
総事業費(執行ベース)	136	198	244			
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	全ての契約案件について業務実施報告、納入された成果品等により検収を行い、履行確認を行っている。 全ての経費の支出に当たっては証拠書類等によりその適正性を確認したところ、特に問題はなかった。				
	見直しの余地	契約に当たっては、契約の性質又は目的が競争を許さない場合等を除き、原則として、一般競争契約方式を採用している。 事務処理の効率化(タクシー代金等)を行い平成20年度に対前年△37百万円、21年度に対前年△12百万円縮減したところであり、今後とも、一層の効率化に努めることとする。 (参考:当初予算額の推移 H20年度298百万円→H21年度261百万円→H22年度249百万円)				
予算監視の効率化	事業が拡大していく中においても、事務費的経費の節減等更なる効率化を図るべき。					
補記	○予算の状況欄 ・各年度の当初予算額は、19年度150百万円、20年度298百万円、21年度261百万円、22年度249百万円である。					

遺棄化学兵器処理担当室  
209百万円

事業全般について助言を行う有識者会議の開催、委託事業の企画・調達・運営・管理、日中協議等を行っている。また、当室の事業内容が極めて特殊なことから、各種専門分野(建築・施工管理、化学物質分析等)に関して、高度な知見を有する事業参与(非常勤職員)等を雇用。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)



A.個人(職員等)			E.BEIJING TOSHARE CULTURES		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	個人A	8	雑役務費	通訳、翻訳料(19件)	5
外国旅費	個人A	2			
計		10	計		5
B.(株)エー・エム・ジャパン			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	事務補助業務	14			
計		14	計		0
C.(株)マルノウチ			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料及び損料	自動車運行管理	6			
計		38	計		0
D.東京四社営業委員会			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料及び損料	タクシー代金	5			
計		5	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出さ  
 れている者につ  
 いて記載する。  
 使途と費目の  
 双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

## 遺棄化学兵器廃棄処理事業担当室経費(単位:百万円)

A		
	個人名	金額
1	個人A	10
2	個人B	10
3	個人C	9
4	個人D	9
5	個人E	8
6	個人F	8
7	個人G	5
8	個人H	4
9	個人I	4
10	個人J	4

B			
	業者名	金額	用途
1	(株)エー・エム・ジャパン	14	事務補助業務経費
2	クレエ(株)	8	通訳料(日本語→中国語)
3	(株)エレクトロニック・ライブラリー	1	新聞及び雑誌記事の電子検索サービスの利用料金
4	和光文具(株)	1	消耗品購入
5	(株)オルカビジョン	1	ホームページ更新経費
6	富士電機ITソリューション(株)	0.5	消耗品購入
7	富士ゼロックス(株)	0.3	消耗品購入
8	扶桑速記印刷(株)	0.10	速記料
9	海外新聞普及(株)	0.02	海外新聞購読料

C			
	業者名	金額	用途
1	(株)マルノウチ	6	自動車運行管理
2	小林総合法律事務所	1	弁護士料
3	丸の内新聞事業協同組合	1	新聞購読料
4	KDDI(株)	0.05	国際通話代
5	日本電信電話	0.04	国内通話代等
6	(有)弘雅堂	0.004	消耗品購入
7	(株)望月	0.001	消耗品購入
8	エイコウ商事(有)	0.001	文具購入

E			
	業者名	金額	用途
1	BEIJING TOSHARE CULTURES	5	通訳、翻訳料(中国語→日本語)
2	朝日梱包(株)	1	資機材輸送
3	日中平和観光(株)	1	海外出張における車両借り上げ
4	日本通運(株)東京国際輸送支店	1	資機材保管料
5	(株)文研堂書店	0.3	定期刊行物購入
6	トップツアー(株)新宿支店	0.3	海外出張における車両借り上げ
7	(株)ぎょうせい	0.3	書籍購入
8	全国ワクチン(株)	0.2	ワクチン購入
9	(株)秋山商会	0.2	消耗品購入
10	(株)第一文真堂	0.2	ソフトウェア購入